

# 特集2

# 在外研究レポート

本学の教員には外国留学の制度があります。留学先では、現地の研究者たちと交流し、新たな情報・意見に触れることで、さまざまな刺激を得ることができま

す。海外の目で日本のあり方を問い直す機会にもなるでしょう。その一方で、言語や文化の壁にぶつかり、苦労することもあります。

このように外国留学を通じて成長したり挫折したりするのは、教員も学生も同じです。帰国後にその経験を日本で活かさなければならぬ点も、やはり同じです。

今回紹介するのは、以下の3名の教員の体験談です。ぜひ学生の皆さんも(短期間でもよいので)いつか日本を飛び出し、世界にチャレンジしてみてください。若いうちはいくら失敗してもよいので

す。むしろそれを通じて成長するのですから。

(編集担当：本郷亮)

## 留学先一覧

藤井 和夫 教授	クラクフ経済大学 2016年4月～2016年9月
栗田 匡相 准教授	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 2015年9月～2016年8月
大洞 公平 准教授	カリフォルニア大学サンディエゴ校 2015年9月～2016年7月